

資料 1

高度救命救急センターの指定について

〔事務局〕

神奈川県健康医療局保健医療部医療整備・人材課

令和8年1月27日

目次

- 1 これまでの議論
- 2 高度救命救急センター申請及び審査状況
- 3 今後の予定

1. これまでの議論（前回会議（R7年12月8日）の振り返り）

【概要】（第2回本部会 概要）

- 高度救命救急センター指定にあたり、県として必要と考える評価項目、客観的なデータや実績について『県の高度救命救急センター指定に係る「視点・観点」（案）』をお示しし、ご了承いただいた。
- 2病院（聖マリアンナ医科大学病院、北里大学病院）から申請書が提出されたら、『県の高度救命救急センターに係る「視点・観点」（案）』に基づいて審査した状況を、第3回プレホ部会でご報告した上で、救急医療問題調査会で審議することについて、ご了承いただいた。

今回の書面会議にて、2病院の審査状況についてご報告

2. 高度救命救急センター申請及び審査状況（聖マリアンナ医科大学病院）

《病院から提出された申請書上の申請事由（概要）》

- 広範囲熱傷、指肢切断、重症急性中毒等、極めて専門性の高い特殊疾病に対する救命医療を担ってきた。
- 年間約9,000～10,000台の救急車搬送を応需しており、川崎市のみならず周辺地域を含めた広域からの重症患者を受け入れている。
- COVID-19パンデミック時、県全域から重症患者を受け入れ、広域医療圏における最後の砦としての役割を果たしてきた。
- 令和5年1月には新入院病棟をリニューアルオープンし、平時・有事を問わず多数の重症患者に対応可能な体制を構築。
- 今後は、高度救命救急センターとしての指定を受けることで、より一層の重症・特殊疾病医療の集約化を進め、川崎市155万人の医療圏において、地域医療機関・消防・行政との連携を強化し、災害時や新興感染症流行時にも対応可能な持続的高度救急医療体制の構築に全力を尽くす。

2. 高度救命救急センター申請及び審査状況（聖マリアンナ医科大学病院）

《申請内容》

➔ 別添資料1参照

《県の評価》

- 診療実績等から、特殊疾病患者の救命医療に必要な相当高度な診療機能を有しているといえる。
- 医師・看護師の配置状況等から24時間、高度救命救急医療に対応できる体制を整えているといえる。
- 指導医指定施設であることなどから、医療従事者に対し必要な研修を行う体制を有しており、地域の救命救急医療充実強化に協力しているといえる。
- 県行政への協力や周産期救急医療システム基幹病院等の拠点病院であること等から県全体の救命救急医療に貢献しているといえる。
- 聖マリアンナ医科大学病院は、今後、災害時や新興感染症流行時にも対応可能な持続的高度救急医療体制の構築に全力を尽くすとしており、高度救命救急センターとしての責務を積極的に果たしていく意欲がある。



高度救命救急センターとしての要件は満たしていると考えられる

※ 救急医療問題調査会、現地視察、医療審議会を経て最終決定を行う予定

2. 高度救命救急センター申請及び審査状況（北里大学病院）

《病院から提出された申請書上の申請事由（概要）》

- 相模原市はもとより、県北・県央の座間市、大和市、綾瀬市、東京都の町田市からも多くの患者を受け入れている。
- 24時間、外科手術、心臓カテーテル治療、脳血管内治療、内視鏡治療、集中治療管理などの救命救急治療を行うことが可能。全診療科、専門医のもとで最新の高度な救急医療を提供できる体制にある。
- 県唯一の原子力災害医療拠点病院であり、原子力災害に対応できる施設を有している。
- 看護師は、救急看護認定看護師、クリティカルケア認定看護師等がおり、質の高い看護体制のもと、教育研修も行っている。また、麻酔科医、手術室看護師が夜間休日も複数名常駐しており、24時間複数の緊急手術に対応できる体制を構築している。
- 今後も、地域における救急医療の中心的役割を担っていく三次救急医療機関として貢献していく所存であり、高度救命救急センターの指定について申請したい。

2. 高度救命救急センター申請及び審査状況（北里大学病院）

《申請内容》

➔ 別添資料2参照

《県の評価》

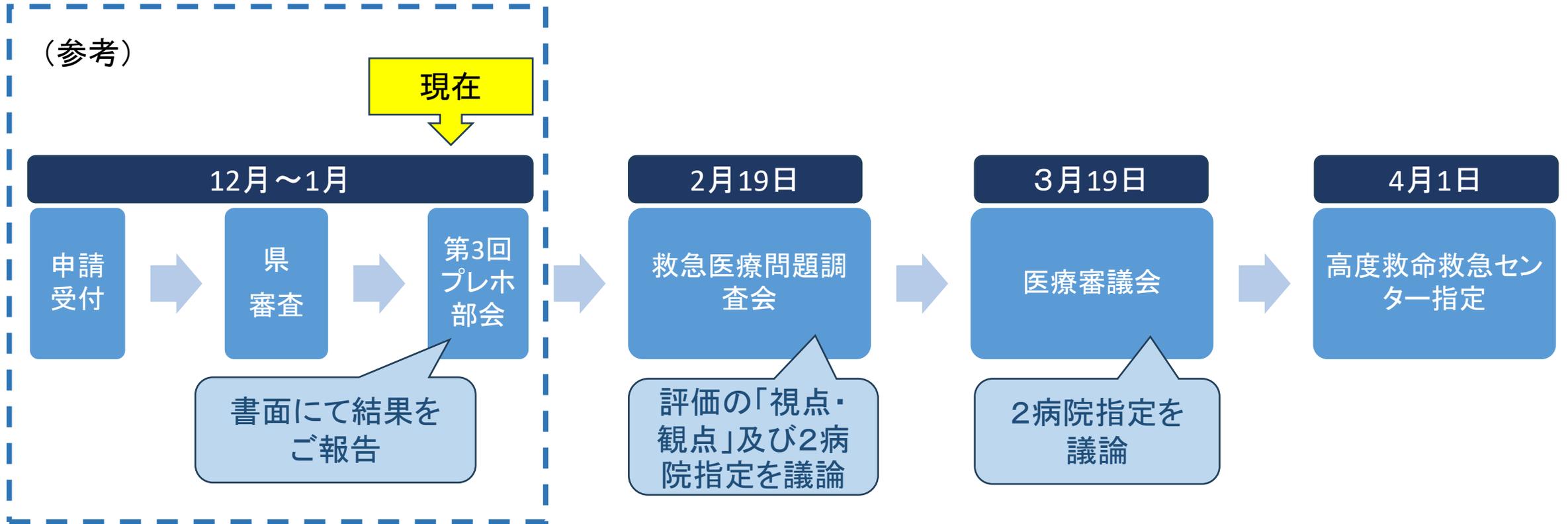
- 診療実績等から、特殊疾病患者の救命医療に必要な相当高度な診療機能を有しているといえる。
- 医師・看護師の配置状況等から24時間、高度救命救急医療に対応できる体制を整えているといえる。
- 指導医指定施設であることなどから、医療従事者に対し必要な研修を行う体制を有しており、地域の救命救急医療充実強化に協力しているといえる。
- 県行政への協力や県精神科救急医療システム基幹病院などの拠点病院であること等から県全体の救命救急医療に貢献しているといえる。
- 北里大学病院は、今後も地域における救急医療の中心的役割を担っていく三次救急医療機関として貢献していく所存としており、高度救命救急センターとしての責務を積極的に果たしていく意欲がある。



高度救命救急センターとしての要件は満たしていると考えられる

※ 救急医療問題調査会、現地視察、医療審議会を経て最終決定を行う予定

3 今後の予定



説明は以上です。